

提供日 2021/12/15 (水)

タイトル 糖尿病の新たな分類の応用可能性を実証した研究論文
を発表

担当 県立総合病院 総務課

連絡先 県立総合病院 総務課

TEL 054-247-6111 (代)



～ともにつくる 信頼と安心の医療～

糖尿病の新たな分類の応用可能性を実証

1 要旨

当院臨床研究部（島田俊夫部長）の齋藤洸平研究員、寺尾知可史免疫研究部長らの研究論文が2021年12月8日にJournal of Diabetes Investigation誌に掲載されました。齋藤研究員は慶應義塾大学大学院医学研究科と当機構間での連携協力協定に基づき研究を行っています。

2 論文タイトル

The usefulness of subclassification of adult diabetes mellitus among inpatients in Japan（日本の教育入院患者における糖尿病のサブクラス分類法の有用性について）

3 論文概要

- ・糖尿病は現在では大きく「1型糖尿病」と「2型糖尿病」と分類され、それ以外に、特定の疾患が原因で発症する糖尿病、妊娠糖尿病がある。
スウェーデンとフィンランドの研究チームは、糖尿病の分類を再構築し、全体を5つのタイプに分類するという新しい糖尿病サブクラス分類法を報告した。（The lancet Diabetes & endocrinology. 2018; 6: 361）
<参考>糖尿病ネットワークニュース <https://dm-net.co.jp/calendar/2018/027898.php>
- ・この分類法が臨床的な経過や結果に関連することがわかれば、分類法に従って、早期により適切なマネジメントや治療を提供することができる。
- ・この分類法は、日本人について、とくに日本独自のシステムである糖尿病教育入院プログラムの評価がほとんどない。また、糖尿病発症時の情報をその分類に用いるため、その発症時の情報が利用できないときに経時的な情報を用いて分類を行った場合の正確性評価の検証を行った。
- ・日本人にこの分類法が適用可能であること、さらに教育入院の情報で適切な分類可能であることが示された。また、特に重症インスリン欠乏性糖尿病に分類される患者は、再入院（2回目の教育入院）のリスクが低い傾向にあり、教育入院効果が高い可能性があることが分かった。

(問合せ先)

静岡県立総合病院 総務課

静岡市葵区北安東4-27-1

電話：054-247-6111 (代)